

地域活性化研究

REGIONAL VITALIZATION RESEARCH

第20号
the twentieth issue

岡崎大学懇話会

2021

地 域 活 性 化 研 究

第 20 号

岡崎大学懇話会

巻 頭 言

岡崎大学懇話会 令和2年度会長 牧山助友
(人間環境大学 学長)

岡崎大学懇話会は、平成9年以来、毎年順調に地域と連携して多くの活動を行い、認知されてきたものと確信しております。しかし、令和2年に入ってから日本における新型コロナウイルス感染の広がりにより、各大学・短大においては、教育研究だけでなく学生生活やキャンパスでの交流など様々な分野で多くの影響を受けました。本懇話会もこの影響は未だ大きく、学生フォーラム、地域活性化フォーラムおよび会合等をオンラインで開催するなど、必ずしも十分な活動が展開されませんでした。このことは大変残念に思います。

しかしながら、このコロナ禍を機に、各大学においてITスキルが向上し、新たな開催方法を確立すると共に、本懇話会が主催するイベントを成功させることができました。このことは偏に各大学・短期大学の関係者および学生の皆様、参加者の皆様のご協力によるものであり、感謝申し上げます。特に地域活性化フォーラムは、その研究内容と発表において各大学の特色を表すだけでなく、地域に係る課題が研究されることで、地域貢献を果たす役割を担うという意義深いものであり、その研究成果については、この『地域活性化研究 20号』として記録することで、本誌の果たす役割が十分発揮されるものと考えられます。

一方、12月12日に開催された学生フォーラムでは、8件の研究発表、20件の展示が行われ、参加者も40人強と盛況であったことは幸いでありました。日ごろの学習成果の内容から得られた作品や教材、アイテムの展示そして研究発表、特定の課題に着目した研究についてのポスターやプレゼンテーションなど、地域的にも地元にとどまらず広がりが見られ、楽しくも立派なものであったと確信しています。何より、学生にとって慣れない発表の機会がオンラインでの開催となり、これまで以上の工夫や対応を余儀なくされましたが、それぞれが協力し合うことで、例年通りの成果が得られました。また、学生、教職員、地域の方々の交流は、昨年度コロナ禍により中止を余儀なくされた分を含め、十分行われたのではないかと感じています。これらの成果も『地域活性化研究 20号』に盛り込まれています。

岡崎大学懇話会の存在とその活動は、今後も岡崎を中心とした三河地域も含め地域に貢献できることを願ってやみません。Society5.0やSDGsに係る研究や活動も、グローバルな立ち位置から地域志向の展開が求められている昨今、懇話会の果たす役割も大いに期待されるところであり、『地域活性化研究』が先導的役割を果たすことができるでしょう。岡崎大学懇話会への一層のご支援を関係各方面へお願いするとともに、地域への貢献を果たすことを誓い、巻頭の言葉とさせていただきます。

最後に、このような状況の中、構成大学の皆様の多大なるご協力、ご尽力によって、この『地域活性化研究 20号』の編集が行われ、無事発刊に至りました。関係各位の熱意とご努力には敬服するものがございます。ここに、記して満腔の謝意を表します。

目 次

【巻頭言】

【第20回地域活性化フォーラム】

「地方創生における地域資源開発の現状と可能性 ―岡崎市の挑戦と課題―」 1
愛知産業大学 今枝千樹、京都大学 藤井秀樹

「子どもの心情理解を深めるつぶやき心情譜を用いた保育者研修『表現』プログラム開発」 10
岡崎女子短期大学 伊藤理絵、
平尾憲嗣、横田典子、本田郁子、小原幹代、滝沢ほだか、山田悠莉

「岡崎市北野の赤米・黒米（古代米）の栄養的価値と利用に関する研究」 20
愛知学泉短期大学 山本淳子、熊崎稔子、大森有希乃、愛知学泉大学 森山三千江

「岡崎市内の都市公園が有する生態系サービス評価額の算出」 28
人間環境大学 江口則和、野中僚

「古代の感染症流行例」 36
人間環境大学 花井しおり

【第20回学生フォーラム】

「就学前教育についての日本とドイツにおける比較考察」 46
岡崎女子短期大学 堀内美江

「嚙下体操音楽の創作研究」 49
岡崎女子大学 可児彩夏

「コロナ禍での名古屋 NDK フレッシュコンテスト 2020 への挑戦」 51
愛知学泉短期大学 深谷明日香

「コロナ禍での『第58回学泉祭“記（しるし）”』開催へ向けて」 54
愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 第58期大学祭実行委員会

「意思決定場面における身体知覚変化の測定―APQを用いた主観的身体変化尺度の開発―」 56
人間環境大学 杉浦秀一

「岡崎市における環境保全活動に関する課題と今後について」 59
人間環境大学 上野慶子

「フォントが香りの印象に及ぼす影響」 62
人間環境大学 中村 樹

【研究論文】

「CLD 児の発達障害支援に関わる通訳が果たす役割についての一考察」	65
愛知産業大学短期大学 川崎直子、小学校教員・公認心理師 藤川純子	
「岡崎市における子ども食堂の実態と課題 —子ども食堂と社会福祉協議会との連携に焦点をあてて—」	74
岡崎女子大学 権泓珠、岸本美紀、中部大学 蘇珍伊、 岡崎市社会福祉協議会 榊原琢也、高柳りえ、本景子	
「教職・保育職を目指す学生に開発教育および SDGs の 活動実践を行った際の学生の学びについて」	84
岡崎女子大学 宮腰宏美	
「藤川地区で自生しているからむしを用いた麺の開発」	94
愛知学泉短期大学 山本淳子、熊崎稔子	

CONTENTS

【 Foreword 】

【 The Twentieth Regional Vitalization Forum 】

Current Issues in Regional Resource Development Leading to Regional Revitalization:

Case of Okazaki City in Aichi 1
China IMAEDA Aichi Sangyo University, Hideki FUJII Kyoto University

Development of an "Expression" Program for Professionals of Early Childhood Education and
Care Using a Piece of Children's Emotional Score to Deepen Understanding of Children's Affect 10
Rie ITO, Noritsugu HIRAO, Noriko YOKOTA, Ikuko HONDA,
Mikiyo OBARA, Hodaka TAKIZAWA & Yuri YAMADA Okazaki Women's Junior College

A Study on the Nourishment and Using of ancient rice such as black rice, red rice in OKAZAKI 20
Atsuko YAMAMOTO, Toshiko KUMAZAKI, YuKino OMORI Aichi Gakusen College
Michie MORIYAMA Aichi Gakusen University

Evaluation of monetary value of ecosystem service in Okazaki city parks 28
Norikazu EGUCHI, Ryo NONAKA University of Human Environment

Pandemics in Ancient Japan: Some Examples 36
Shiori HANAI University of Human Environments

【 The Twentieth Regional Students Forum 】

A comparative Study about the Japanese and German education of early childhood 46
Mie HORIUCHI Okasaki Women's Junior College

A Study on Making Music for the Exercises to Improve Swallowing Function 49
Ayaka KANI Okazaki Women's University

The Challenges for the 2020 Nagoya NDK Fresh Contest in the COVID-19 Pandemic 51
Asuka FUKAYA Aichi Gakusen Junior College

The Various Activities to Hold the 58th Aichi-Gakusen Campus Festival "SHIRUSHI"
(Take This Moment to Heart) in Safe in the COVID-19 Pandemic 54
58th term University Festival Executive Committee
Aichi Gakusen University and Aichi Gakusen Junior College

Development of the Subjective Body Change Scale on decision making task 56
Shuichi SUGIURA University of Human Environments

Current issues and future plans about environmental conservation activities in Okazaki City 59
Keiko UENO University of Human Environment

The effect of font type on fragrance impression 62
Miki NAKAMURA University of Human Environments

【 Research Paper 】

A Study on the Role of Interpreters in Supporting Developmental Disabilities in CLD Children 65
Naoko KAWASAKI Aichi Sangyo University College,
Junko FUJIKAWA Elementary school teacher/ Certified Public Psychologist

Current Status and Issues of Children's Cafeteria(Kodomosyokudo) in Okazaki City:
Focusing on Cooperation with Council of Social Welfare 74
Hyunju Kweon, Miki Kishimoto Okazaki Women's University,
Jinyi So Chubu University,
Takuya Sakakibara, Rie Takayanagi, Keiko Moto Council of Social Welfare in Okazaki City

About students' learning who are majoring in teaching and childcare by the activities and
practices of development education and SDGs 84
Hiromi MIYAKOSHI Okazaki Women's University

A Study on the Development for noodles using karamushi (choma) in the Fujikawa area 94
Atsuko YAMAMOTO, Toshiko KUMAZAKI Aichi Gakusen College